

佐倉市V連協だより

【発行】
 佐倉市ボランティア連絡協議会
 【連絡先】
 佐倉市ボランティアセンター内
 TEL:043-484-6198
<http://www.sakuravren.com/>
 E-mail info@sakuravren.com

コロナ感染症が5類に引き下げられマスクの着用も個人の判断に任されたので、活動を再開された個人、団体があるかと思えます。

佐倉市ボランティア連絡協議会
 会長 住吉 アキ子

私たちV連も今年度の第1回運営委員会（総会）を対面で開催し、コロナ以前の活動を取り戻しつつあります。

ただ高齢者施設や障がい者施設などの訪問活動をされている方たちはまだ以前の活動に戻りづらい状況です。その間会員とのつながりが希薄になり会の存続が難しくなることは想像できます。

そんな中、V連は総会で報告した通りバス研修旅行を企画しましたので皆さまが会員の方たちとこのバス旅行を通じてつながっていただけたら幸いです。

今年度のV連も皆さまと一緒に歩んでいきますのでよろしくお願い致します。



令和5年度第1回運営委員会（総会）報告

<協議事項>

- (1) 活動報告・決算報告・会計監査報告
- (2) 令和5年度予算（案）
- (3) 令和5年度活動計画（案）

～本年度はコロナ感染予防を行いながら例年通り活動を継続いたします～

- ・第13回障害者作品展ふれあいギャラリー 未定
- ・ボランティア市民活動フェスタ 令和5年11月 中央公民館
- ・第2回運営委員会 令和5年12月3日（日） 志津コミュニティセンター
- ・ボランティアのつどい 令和6年2月11日（祝） 志津コミュニティセンター
- ・印旛地区V連協交流会
- ・収集活動
- ・バス研修会 令和5年8月29日（火） つくば方面 JAXA
- ・Zoom 交流会 今年度も継続して開催いたします。会員間の交流と技術向上に向けて。



※協議事項は承認されました。ありがとうございました。

運営委員会出席者 12団体（21団体中）・個人10人（30人中）

令和5年度役員紹介

会長	住吉	アキ子
副会長	稲村	多恵子
	小倉	幸代
会計	高橋	京子
書記	秋田	美智子
	豊田	理英子
	岡嶋	由紀子
幹事	友崎	彰
	田仲	知代
	黒野	政子

佐倉市社会福祉協議会 会長 長谷川 大美様が
 令和5年6月23日をもって退任されました。
 大変お世話になり、ありがとうございました。



《ズーム交流会》

みんなでZOOMを使っておしゃべりしましょう！
 第3土曜日 11時～12時
 詳しくはボランティアセンターまたはV連役員まで

【ボランティアのつどい】の実行委員会を立ち上げ開催する予定です。

ただいま実行委員募集中！


語ろう！ボランティアの良いところ・改善していきたいところ

今回のテーマはみなさんの声から生まれました。
コロナ禍で思うように活動できない中「ボランティアとは？」と考え振り返ることが増えたとのこと。
そんな言葉から、今回はあらためてボランティアの良いところを見つめ、今後の課題と向き合いました。



グループ
しい
ブ話し
発表
の後の

みんなで語ろう！



5班に分かれてグループワーク。
自己紹介の後、課題にむけて
たくさん意見を聞くことができました。
最後に各班の代表者が発表。
またこの続きを話したいですね。

【各グループの発表から抜粋】

<良いところ>

社会的ネットワークを築くことができる

- ・コロナ禍でむずかしかった人と人とのコミュニケーションが取れるようになりうれしい
- ・新しい人々と知り合うことができる
- ・話を聞いてくれる人がいる
- ・おしゃべりができる
- ・新しい仲間ができる
- ・子ども達との関わりを持つことができる喜び

所属意識・社会貢献

- ・充実感・満足感・心地よさをもらう
- ・一線を退いても社会と繋がっていることができる
- ・待っている人がいる
- ・喜んでくれる人がいる
- ・「おいしかった」と言ってくれる

スキルの習得や向上

- ・病気への偏見がなくなった
- ・視野が広がる・自身の生活に広がりがあった

健康：精神的安定と体力アップ

- ・考え方が前向きになる
 - ・規則正しい生活リズム
- など

<改善していきたいところ>

◆ボランティア活動を長期間継続するために・・・ 高齢化/人手不足

- ・年齢からの体の疲れと精神的な疲れ
- ・モチベーション維持のためには？
- ・続けていくとやめられない・・・
- ・人材不足・・・若者を引き込めないか？

- ◆資金不足・・・新しい技術の導入/教育研修で？
- ◆新規の活動をしてみたいがなかなか飛込めない。
- ◆活動場所の不足や確保

など



長谷川会長
ありがとうございました。

【編集後記】

以前、広報紙はらっぱで紹介した中志津クリーンクラブと共に活動した高校生達を覚えていますか？文科省の【総合的な探求の時間】(生徒自らが社会や地域の課題に、いちから向き合い解決に向けて進めていく)の中で、『地域のゴミ問題』を取り上げたことで、今回の出会いに繋がりました。

また、『印旛郡市V連協交流会』のZoom会議では、多くのボランティア団体から「高齢化」や「若い人をどう取り込んでいくか」の問題点が挙げられた一方、子ども食堂においては若いお母さん達がたくさん活躍しているという、うれしい報告もありました。

本年度総会での佐倉市社会福祉協議会長谷川会長のご挨拶では、「ボランティアの高齢化の問題が顕著になり次の世代へどう繋いでいくかが重要。また、子ども食堂では地域や団体と横のつながりを作り広げている。これからは『時代に即したボランティア活動』を模索していく必要があるだろう」と今後のボランティア活動に大きなヒントをいただきました。



「バス研修会」遠くて近い宇宙を見に行こう！

日時：令和5年8月29日(火)

場所：つくば宇宙センター/道の駅「発酵の里こうざき」

お待ちしております！4年ぶりの開催です。

